

大分教育事務所訪問②-21 (計94)

臼杵市立南中学校に学ぶ2

学校経営から学ぶ

学校の教育目標を達成するために、「学校評価の4点セット」のそれぞれの取組について、教職員等の実施率と取組状況、生徒の達成状況と検証、改善策が明確に示されており、年度途中で担当者の変更を行いつつも、特に生徒指導や不登校対応に成果がでています。また、育成を目指す資質・能力も当初3つあったものを「情報処理・活用力」と「自己肯定感」に絞り込み、特に概念的知識の評価の研究・研修を中心に行っています。

今後は、「情報処理・活用力」について、本校として「定義」することで、最上位目標の共通理解を図ってみてはいかがでしょうか。目標の共有ができれば、具体的な取組は担当者や生徒会にも任せることができ、当事者意識がより高まると思われました。また、そのような資質・能力について、保護者や地域の方とも熟議等を行うことで、本校の伝統でもある「炭焼き活動」を通して、生徒達につけるべき力が明確になり、より協働的な取組へとなると思われます。

授業から学ぶ

授業では、効果的な学び合いが行われ笑顔や拍手があふれていました。そのため、「授業規律」については、管理的な項目よりも、「友達の意見に反応する」など、共に創る授業のような項目を入れることについて、生徒会を中心に改善してみてもはいかがでしょうか。

また、指導案における「振り返り」は教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」で表すように統一することで、互見授業等で「振り返り」の表記の在り方や「ねらい」との連動、評価規準との整合性等を協議することで授業改善が推進されると思われました。



NO.416 2021年10月 臼杵市立南中学校

本物へ

自分の思いを一生懸命相手の伝える。思いが伝わると共に笑顔になる。そして、学んだことが本物になる。

南中学校 授業規律

- ① 授業が終わったら、次の学習の準備をする。
- ② 正しい姿勢で座り、授業に集中する。
- ③ 発言する時は、挙手をする。
- ④ 指名されたら、返事をする。
- ⑤ 相手(発言者)を見て、最後まで話を聞く。



NO.417 2021年10月 臼杵市立南中学校

協力は強力

はんだ付けも、協力することでうまくいく。一人でできることも、複数の力が集まるともっと強くなる。



NO.419 2021年10月 臼杵市立南中学校

つなげる

英語と日本語、そして表現方法をつなげる。つながることで、実用できる。



NO.418 2021年10月 臼杵市立南中学校

拍手には

頑張れ！すごい！私も同じ！よくやったぞ！・・・拍手には多くのメッセージがある